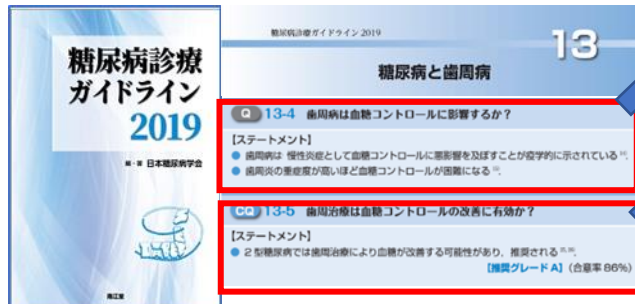


【事業名】HbA1c高値者に対する歯周病検診（PISAドック）

【代表組合】アクセンチュア健康保険組合 【共同実施】日産自動車健康保険組合

本事業の狙い



メタ解析^{25,26,45-47}では解析対象とする文献の相違があるものの、共通して歯周基本治療（主としてスケーリング・ルートプレーニング）の術後にHbA1cが0.29~0.66%低下することが示されている。代表的な解析として、2013年にアメリカ歯周病学会誌に掲載された解析で

歯周病は、慢性炎症として血糖コントロールに悪影響を及ぼすことが疫学的に示されている

2型糖尿病では歯周治療により血糖が改善する可能性があり、推奨される【推奨グレードA】

歯周基本治療（略）の術後にHbA1cが0.29~0.66%低下することが示されている。



歯周ポケット（4mm以上）のある者 = 歯周病罹患者は、40代以上の国民に4~6割も存在する。



導かれる仮説（本事業の検証対象）

血糖コントロール不良者の中に、慢性炎症を抱えた歯周病罹患者が相当数隠れており、その歯周病治療を行えば血糖値が改善するのではないか。

ただし、歯周病は自覚症状に乏しい一方、その治療に苦痛を伴うため罹患患者・歯科医とも消極的になりがち。

治療に積極的な歯科医を見つけることと罹患患者に治療を決意させる動機づけが必要。

PISAを使うことによって上記2つの課題を一気に解決すれば、HbA1c降下を狙えるのではないか。



表20. 歯周ポケットの保有者の割合、年齢階級別 (%)

年齢階級 (歳)	4mm未満	歯周ポケット(4mm以上)のある者		対象歯の割合 (%)
		総数	4mm以上 6mm未満	
15~19	93.9	6.1	6.1	-
20~24	74.3	25.7	25.7	-
25~29	68.6	31.4	31.4	-
30~34	66.9	33.1	30.2	2.9
35~39	60.5	39.5	31.4	5.8
40~44	55.1	44.9	39.4	5.5
45~49	55.4	44.6	40.6	4.0
50~54	45.5	54.1	44.5	9.5
55~59	50.6	47.8	37.5	10.3
60~64	38.7	57.9	43.6	14.3
65~69	34.9	60.5	42.3	18.2
70~74	36.9	53.6	40.4	13.2
75~79	30.2	55.3	40.3	15.1
80~84	30.6	47.7	35.6	12.2
85~	19.1	44.1	31.6	12.5

【事業名】HbA1c高値者に対する歯周病検診（PISAドック）

【代表組合】アクセンチュア健康保険組合 【共同実施】日産自動車健康保険組合

本事業の内容

Step1

定期健診結果からHbA1c
高値の対象者を抽出

R4年度実施

対象者数：アクセンチュア健康保険組合（HbA1c 6.0 \geq ）470人
：日産自動車健康保険組合（HbA1c 6.5 \geq ）770人※1

※1:検診実施歯科医の所在地を考慮して絞り込んだため、当初想定約半数になった。

Step2

対象者に歯周病と血糖値の
関係を啓発し、PISAドック
の受診を勧奨



A4版8P勧奨冊子を自宅へ送付

Step3

希望者がPISAドック受診

受診者数：ア 60人（受診率 12.8%）
：日 17人（同 2.2%）※2

※2:当初想定範囲内の「ア」より明らかに低く、要考察

R5年度実施



Step4

希望者は健康保険を使って
歯周病治療



Step5

歯周病治療実施者のHbA1c値を定
期健診結果で把握
初期値と比較して下がっていれば成果
報酬支払い